

## 研究についての説明

### はじめに

この文書は、研究課題名「陸上競技指導者における指導のバックグラウンドと指導実績との関係」の研究において、既存試料・情報を利用することをお知らせするための説明文書です。わからないことや、心配なこと、疑問に思ったことなどがありましたら、どんなことでも遠慮なく説明者または研究責任者にお尋ねください。

説明者・研究責任者	所属	筑波大学 体育系 助教
	氏名	木越清信
	連絡先	kigoshi.kiyonobu.gn@u.tsukuba.ac.jp

### 記

#### 1 研究課題名

この研究の研究課題名は、「陸上競技指導者における指導のバックグラウンドと指導実績との関係」です。この研究は、筑波大学体育系研究倫理委員会の審査を経て、筑波大学体育系長の許可を受けて実施しています。

#### 2 研究の背景

競技者が成功を収める上で鍵となる要素の一つは、間違いなく競技者たちが受けるコーチングの質である (Duffy et al., 2010) とされています。これに関して、異論はないものと推察します。そして、そのコーチングの質に影響を及ぼす要因として、指導者が保有する指導者資格、中学校または高等学校の教員であれば専科とする授業科目、指導者自身の陸上競技の競技経験、陸上競技指導経験年数などの指導に影響を及ぼすバックグラウンドが挙げられます。しかし、これまでに、指導者のバックグラウンドと指導実績との関係について検討した研究はありません。

#### 3 研究の目的及び意義

本研究では、公益財団法人日本陸上競技連盟が実施した指導のバックグラウンドに関するアンケート調査の結果を提供していただき、陸上競技の競技歴や保健体育科の教員免許の有無などの陸上競技指導者における指導のバックグラウンドと指導実績との関係を検討することを目的とします。

#### 4 予想される研究上の貢献・期待される利益

本研究において得られた知見により、陸上競技指導者の指導力の向上に向けた施策、および若い指導者の育成施策を検討する際の一助となるものと考えております。これまでに、陸上競技に限らず、コーチング学の研究において、競技者を対象とした研究が圧倒的に多く、指導者に着目した研究は殆ど行われていません。しかし、指導力の向上に向けた施策や若い指導者の育成施策を検討するうえで、指導者に着目した研究は有益な情報をもたらすものと考えられます。

## 5 研究実施期間及び試料・情報等の保存期間

この研究は、2025年9月1日まで実施する予定です。

研究期間終了後、2035年9月1日まで、取得した情報保存します。

## 6 研究実施場所及び研究実施体制

### (1) 共同研究の有無

本研究は、筑波大学単独にて行われる研究です。

### (2) 研究実施場所

データの分析は、筑波大学体育科学系B棟403号室（教員研究室）およびB棟102号室（研究準備室）にて行います。

### (3) 組織

研究組織は、以下の通りです。

研究責任者（役割：研究に関する総括）：木越 清信

連携研究者（役割：データ分析）：若園 茜

## 7 研究対象とするデータ

本研究では、陸上競技指導者を対象とした指導のバックグラウンドに関するアンケート調査の結果を用いる。

## 8 実施内容

### (1) 実施方法の説明

公益財団法人日本陸上競技連盟が実施した指導者のバックグラウンドに関するアンケート調査の結果を、本学が第三者提供を受けます。なお、日本陸連が実施したアンケートでは、以下に関する項目についての設問がなされていました。

- ・性別、年齢
- ・教員免許の有無
- ・中学生、高等学校および大学生の時に所属していた部活動
- ・部活動での指導上の役割
- ・指導経験年数
- ・陸上競技部の部員数
- ・指導を担当している学校種別と所在地
- ・指導実績
- ・1週間あたりの指導日数と一日当たりの時間
- ・指導のやりがいおよび負担感
- ・保有している指導者資格

なお、アンケートの依頼は日本陸連に指導者登録されている成人指導者へメールにて依頼し、そのメールにGoogleフォームで作成されたアンケートフォームにリンクするQRコードが付き

れていました。アンケート項目には、個人を識別できる情報は含まれていません。アンケートが終了し、倫理申請が承認されてから、当該アンケートのGoogleフォームへの閲覧権限を研究責任者に付与してもらうことで、研究責任者はアンケート結果を入手します。アンケート結果は、パスワードで保護された外付けハードディスクに保存し、研究責任者と連携研究者のみがアクセスできるようにします。

**(2) 情報の提供を受けるための手続**

**① どこから提供を受けるか**

公益財団法人日本陸上競技連盟

**② どのような目的で既存試料・情報とされたものか**

指導者育成指針作成のための実態調査

**③ 提供を受ける試料・情報は何か（個人が識別される情報を含むか否か）**

陸上競技指導者を対象とした指導のバックグラウンドに関するアンケート調査の結果  
個人が識別される情報は含みません。

**④ 提供を受けるためにどのような手続をとるか**

**ア 提供を受けるための自機関での手続の内容**

本学、陸上競技コーチング論研究室のHPにて情報公開を行います

**イ 提供を受けるための提供元機関での手続の内容**

アンケート調査への参加を依頼した全員に対してメールによる通知を行います

**9 研究における倫理的配慮**

**(1) 研究の対象となる個人の人権擁護（①個人情報の管理、②個人情報の保管、③個人情報の破棄、④個人情報の開示等、⑤プライバシーの保護）**

**①個人情報の管理**

情報提供元が、情報を入手した時点で匿名化されており、個人が識別される情報は入手していない。

**②個人情報の保管**

収集したデータは保存し、パスワードを設定して研究責任者および連携研究者（学内）以外はアクセスできないようにします。

**③個人情報の破棄**

電子データは、保存期間満了時に完全に消去します。

**④個人情報の開示等**

研究結果を論文発表にて公開します。

- ・ 研究結果を公開する際には、研究対象者個人を特定できる個人情報等を開示しません。
- ・ アンケートの際に、個人情報を取得しないため、アンケートの提出後は、同意の撤回がなされても該当する者のデータを取り除いたり修正したりすることができません。
- ・ 当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できるようにします。
- ・ 研究対象者等及びその関係者からの相談に対して問い合わせ先を通知して対応します。

#### ⑤ プライバシーの保護

- ・ 本研究では、個人が識別できる情報は取得しません。

#### (2) 研究の対象となる個人に理解を求め同意を得る方法（インフォームド・コンセント等）

提供元（日本陸連）では、アンケート調査への参加依頼のメールを送付した全員に対して、本研究に対して第三者提供することを通知する。また、提供先（本学）では、陸上競技コーチング論研究室のHPに情報を公開します。

#### (3) 研究によって生ずる個人への不利益及び危険性に対する配慮

- ・ 15分程度の時間的拘束があります。
- ・ 過去の記憶を蘇らせ、不快な思い出を想起させることがあります。

### 10 緊急時対応及び被害の補償

#### (1) 緊急時対応と中止基準

特にありません。

#### (2) 被害の補償

特にありません。

### 11 研究資金

筑波大学教育研究経費によって実施されます。

### 12 利益相反（共同研究先の企業・団体等との関係を含む）

### 13 研究結果の公開

この研究の結果は、論文発表にて公開します。  
研究結果を公開する際には、研究対象者を特定できる個人情報等は、開示しません。

### 14 その他

## 15 問い合わせ先

この研究は筑波大学体育系研究倫理委員会の承認を得て、対象者の皆様に不利益がないよう万全の注意を払って行われています。研究への協力に際してご意見ご質問などございましたら、気軽に説明者又は研究責任者にお尋ねください。あるいは、体育系研究倫理委員会までご相談ください。

### 【問い合わせ先】

所属：体育系

職名：助教

氏名：木越清信

電話番号：029-853-2647

E-mail：kigoshi.kiyonobu.gn@u.tsukuba.ac.jp

### 【筑波大学 体育芸術エリア支援室研究支援】

電話番号：029-853-2571

E-mail：hitorinri@un.tsukuba.ac.jp